

ご挨拶



木本信太郎の政治活動に対しまして、
日頃より深いご理解とご協力を頂いております事に
改めて感謝、御礼を申し上げます。

皆様の力強いご支援により水戸市議会に
送って頂き、早いもので15年目を迎えました。
その間、世の中は東日本大震災をはじめ、新型コロナ
ウイルスの蔓延、ロシアのウクライナ侵攻など様々な事
がおこり日々状況は変化しておりますが、いつ何が
重層的に起きてもおかしくない時代になったと思います。

変化の激しい時代において、地域社会において
は自治会をはじめ地域を構成する様々な団体が人口減少や少子高齢化などにより衰退しており、
自助、共助、公助の中で共に助けあう共助がより
脆弱になってきております。こうした部分を公助
やテクノロジーで補い、予測される次の災害に
どのように備えていくかが問われております。
地方自治体も共に助けあう時代です。

今年度より県央地域において水戸市を中心に連携
中枢都市圏がはじまり、広域連携は新たな時代に入りました。私はこの政策を、元来広域行政を担っている
県政においてより一層推進、支援するべく、
県議会に改めて挑戦する事を決意致しました。
各自治体が連携し政策を行い、そして広域行政を
担っている県政がその政策を推進することで
広域的な発展を目指していく。

それが私の理想であり、使命であります。

「流した汗が必ず次の時代を創る」と信じて精進します。

引き続き皆様の変わらぬご支援、ご協力、ご指導を
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

木本信太郎



木本信太郎プロフィール抜粋

昭和52年9月4日 茨城県水戸市千波町に生まれる
水戸市立千波小学校卒業
水戸市立第二中学校入学 水戸市立千波中学校卒業
水戸短期大学附属水戸高等学校卒業(現 水戸葵陵高等学校)
茨城大学大学院 人文学部地域政策専攻 修士課程修了
水戸市議会議員現在4期目
水戸市議会第69・70代 副議長
文教福祉委員会委員長
水戸市社会福祉協議会理事
県司厨士(洋食)協会 顧問
水戸市バドミントン協会 顧問
水戸市見川サッカースポーツ少年団顧問
地球温暖化防止活動推進員



きもと しんたろう

木本信太郎

後援会

「木本信太郎後援会」に
入会してくださる方を募集しております。
皆様のお力で、木本信太郎をお支えください。
ひとりでも多くの方のご入会お待ちしております。

木本信太郎後援会事務所

水戸市千波町127-2

Tel.029-241-9100 Fax.029-243-9675

<https://kimotoshitaro.com>

木本信太郎

検索



@ shintarokimoto



shintaro.kimoto



みんなの声を
県政に

木本
信太郎

きもと しんたろう

持続可能な地域社会の構築

討議資料



「初心忘るべからず」毎年元旦にいつもの場所で立ち上げておらず今年で15年目



逆川緑地での環境美化活動



グロービス経営大学院 堀義人学長とトークセッション
水戸の街づくりについて



大井川県知事、加藤明良先生と



千波湖ビオトープ活動
水質浄化と生物の多様な環境再生のため植物を植えました



茨城大学での講義の一コマ



街頭演説



水戸市マスコットキャラクター
みとちゃんと一緒に



ウクライナ人道支援金募金活動
水戸駅前にて



グロービス東松龍盛塾
1期生として



水戸青年会議所での挨拶



副議長時代/水戸市役所新庁舎開設記念植樹
高橋靖市長 田口米蔵議長(当時)



You Tuberとの講演会

捲土重来

1. 県政からいばらき県央地域における連携中枢都市圏ビジョンの推進
水戸市を中心に県央地域の各自治体が様々な政策を連携して行う事により、またそれを県政が支援する事により広域的な発展と政策効果を深化させます。
2. 街をフィールドにした多種多様な社会実装を推進します
産学官連携や官民連携を次のステージへ
大学や企業の研究成果や新商品やサービスなど社会的な課題解決にむけたイノベーションをより積極的に支援し、街を使った応用や展開を推進します。
3. デジタル社会・経済へのインフラ整備の加速
自動運転に必要な5Gをはじめ、医療や福祉、そして農業分野など、今後のDX化により劇的に変化する各産業分野へ積極的な支援を行い、データ・ドリブン・エコノミーによる新たな時代のインフラ基盤整備を構築します。
4. 循環型社会の更なる深化
いわゆる3R+αの徹底をはじめ、SDGsの取り組み、千波湖の都市型公園化に伴う環境整備など、質の高い環境と調和した街づくりをより推進していきます。
5. 地域医療体制の更新
水戸協同病院建て替えの道筋をはじめ、茨城県地域医療構想の今後の展望など、コロナ時代における地域医療や総合医療体制の更新を促進します。

6. 地方福祉の今後にむけて
多くの地方自治体にとって福祉業界はその街にとって大きなマーケットになっており、雇用や取引業者など街の経済に影響を与える存在になっております。働く人たちへの更なる支援や自治体によって変わる支援の在り方など、地方福祉の発展に必要な支援を強化します。
7. 企業や産業の育成・支援
既存産業の機能強化と新産業の創生・育成などの取り組みを支援します。
8. 農業政策
自給率の向上など経済安全保障の観点も含めて劇的に変化している世界情勢の中で、大規模集約型や6次産業化の推進と併せて、中小零細農家をどのように次世代に繋げていくのか。支援の多様性と新規就農者と耕作放棄地のマッチングの更なる促進など、多様な農業と農村の次世代の在り方とビジョンの構築をします。
9. 教育
水戸市を中心に県央地域は高等学校が多く点在する地域。公立、私立を問わず、多様な教育を行う高等学校を積極的に推進し、もっと学生が集まるエリアを構築します。そして、いかに生きる力を育んでいくか、多様なフリースクールの充実をはじめ、企業や海外との学生インターナーシップを推進し、より現実的且つ実践的な社会体験が出来る環境を推進します。
10. 文化
郷土の歴史・伝統・文化をどのように次世代に繋げていくか官民を問わず、郷土史研究や勉強会の支援強化、郷土の歴史的な書物などを現代人でも理解できるよう現代語訳を推進。弘道館の周辺整備をはじめ各地域の歴史調査・発掘を推進し歴史と現代が調和する街づくりを推進します。